

各位

会社名	株式会社エイジス
代表者	代表取締役社長 福田 久也 (東証スタンダードコード番号:4659)
問い合わせ先	経営企画室長 小川 善央
TEL	043-350-0911

### 2026年3月期通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025年5月15日に公表しました2026年3月期通期連結業績予想と、本日公表いたしました2026年3月期通期連結業績の実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2026年3月期 通期業績予想と実績との差異(2025年4月1日～2026年3月31日)

##### (1) 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 37,000	百万円 2,350	百万円 2,512	百万円 2,070	円銭 245.44
今期実績(B)	37,882	3,247	3,354	2,054	243.53
増減額(B-A)	882	897	842	△16	
増減率(%)	2.4	38.2	33.5	△0.7	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	33,960	3,032	3,134	2,104	249.63

##### (2) 個別業績

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17,800	百万円 1,827	百万円 1,710	円銭 202.76
今期実績(B)	18,572	2,616	1,999	236.91
増減額(B-A)	772	789	289	
増減率(%)	4.3	43.2	16.9	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	16,346	4,500	3,836	455.05

## 2. 差異の理由

リテイルサポート事業において、支払手数料等の販管費の支出が予想を下回ったことに加え、マーチャンダイジングサービスにおいて、収益性の改善により売上総利益が予想を上回ったこと、さらに 2025 年9月 1 日を実行日としたパーソルマーケティング社の事業譲受によるのれん償却費及び顧客関連資産償却費を含めた営業利益が予想を上回ったこと等が主な要因です。これらにより、通期の連結業績および個別業績における営業利益、経常利益が予想を大幅に上回る結果となりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、減損損失や TOB 関連費用など非経常項目が影響しております。これらの内容につきましては、本日公表の「2026 年3月期 決算短信」において詳細を記載しております。

以上